

マレーシア・ボルネオ島サラワク州における熱帯雨林再生活動

かつて伐採が行われた二次林地域で、熱帯雨林再生のための植林活動を地域住民の協力を得ながら1995年より実施。これまで、合計面積964ha、本数26万5600本。フタバガキ科在来種のほか、在来種以外では、地域住民が森を活用し、持続的な活動ができるように、有用樹種としてゴムノキを一部混植しているほか、果樹としてドリアン、タラップ、スターフルーツ、ランブータン、プタイなどの木も地域住民の意向を踏まえて植えている。



日本とマレーシアのボランティアによる植林作業（2013年7月）